

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・夏休みに入りイベントなどが増えていく。それと同時に経済が潤う。
	◎	コンビニ（副店長）	・ゴールデンウィークがあり、またクルーズ船寄港回数も増えるため期待ができる。
	◎	その他専門店〔陶器〕（製造）	・ゴールデンウィークが明けると、次はすぐ夏休みへの準備なので物を作って売る者にとっては繁忙期である。
	○	スーパー（企画担当）	・前月に引き続き今月の売上実績をみても前年を超過する見込みとなっている。これから夏のトップシーズンとなり、入城観光客数の増加も見込まれ、更に景気は良くなっていくのではないかと考えられる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染症の影響がなくなりつつあるため景気は良くなっていくとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・今月は前月に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する制限の解除等があり客の動きも良くなっているとみられる。売上も少しが増えてきているので、この調子で増えてもらいたい。
	○	家電量販店（営業担当）	・中国人観光客の増加が見込まれる。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・確実に観光客は増えてきているが、地元は商品値上げがじわじわ効いてきている。観光客は余り単価を気にしないため、おすすめ販売で単価を上げられて助かっている。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルス感染症の分類が2類相当から5類感染症に移行される。企業の団体旅行の予約が入ってきている。料飲部門も宴会予約が増えている。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は2019年と同水準まで回復している。予約の動きも早期に推移しており、今後もこの傾向は続くと思われる。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況がまだ部分的に厳しく、長い間の環境悪化で来客数が相当減っているという話もある。僅か一部は良くなったという話も耳にするが、まだ現状は厳しいとみている。
	□	百貨店（店舗企画）	・インバウンドは良くなるとみられるが、これから値上げされる光熱費の影響などで、国内客が節約志向となり全体的には変わらない状況となることが懸念材料である。
	□	コンビニ（代表者）	・現在の県内景気は活況を呈しているが、様々な分野で人手不足の状況にあり、多少停滞期がみられ、なかなか人手不足が解消に向かっていない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・ゴールデンウィーク後にどうなるのか先は読めないが、悪くはならないとみている。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・商品の安定供給が見込める。
	□	一般レストラン（代表者）	・観光客が増えているが、新型コロナウイルス感染者も増えているため、分からない。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・物価上昇により財布のひもが固くなり、個人旅行はかなり伸び悩む。
	□	通信会社（営業担当）	・特に景気が回復する要因はなく、9月の新商品発売までは今の状態が続くと考える。
	□	住宅販売会社（役員）	・住宅ローン金利の状況にもよるが、住宅購入意欲は保たれるのではないかと。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの4月の販売室数が前年比177%増加なのに対して、4月末時点での7月の販売室数は同18%増加と、プラス幅が小さくなっている。
▲	住宅販売会社（代表取締役）	・新規の住宅建築相談件数が減少傾向にあるなか、この先も建築請負契約件数が減る懸念がある。	
×	－	－	－
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・今後も、新型コロナウイルス感染症に関する制限の解除や国内観光客の増加で引き続き観光土産、行楽客の食べ物需要が増加するとみられる。
	○	建設業（経営者）	・高額契約の兆しがみえてきている。

	○	輸送業（代表者）	・先島地区の建築関連は、公共工事においては端境期にあるが、与那国の自衛隊工事のように、先々は防衛や空港、港湾等に期待が持てる。観光客は新型コロナウイルス感染症発生前をしのいでおり、各島々に生コンの出荷量が増加中であり、民間工事は盛大である。
	□	窯業土石業（取締役）	・生産、販売とも大きな変化はなく、当面の間、現状維持を見込んでいる。
	□	広告代理店（営業担当）	・原材料の価格高騰の影響により先行きを不安視する状況はまだ続いていることから、県内企業の販促投資は低調のまま推移するとみられる。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	・ゴールデンウィーク明けに新型コロナウイルス感染症が5類に移行することが決定されており、人の動きが正常化し景気は良くなっていくとみられる。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・IT系企業の採用活動はこれより徐々に落ち着いてくるが、今後においてはビジネス系及びデザイン系が動き出してくるため、結果的に現在と変わらない状況になるとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルス感染症による制限の反動で人の流れは増加しているが、物価高はしばらく続くとみられる。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	・前月3月を求人数のピークとして、夏場に向けて徐々に求人数は減少していくと予測している。夏から秋に向けては緩やかに増加すると予測している。
	×	—	—